



まずは動く、現場主義！

町田市議会議員

小野寺まなぶ

プロフィール 昭和45年、東京都生まれ。東京エアトラベル専門学校観光旅行学部を卒業。ホテルマン、電気工事士を経て、2006年(有)中原商店に入社、2014年、社長に就任。2022年、町田市議会議員に初当選。妻と1男1女、犬2匹の家族。矢部町在住。

物価高対策を市長に緊急要望



公明党町田総支部は2025年12月8日、「重点支援地方交付金」に関する支援策について、即効性ある物価高対策となるよう、石阪市長に緊急要望を行いました。

S N S で情報発信中



紹介動画はこちら



2025年12月定例議会

地域の皆様から頂いたご意見やご要望をもとに一般質問しました。



小野寺まなぶ
市議

相原駅周辺の街づくりや移動販売の状況は？

地権者などとの意見交換や、相原街づくり協議会や近隣大学との連携なども進めて、にぎわいを創出していきたい。移動販売では、開始当初の12カ所から15カ所に増加。事業所と連携し、サービスの向上に取り組んでいきたい。

市



小野寺まなぶ
市議

2026年度開始のプラスチック分別収集の進捗は？

分別説明会の希望があった町内会・自治会50団体と調整し、随時、開催している。プラスチックの処理は現状、市外施設への持ち込みだが、今後、市内に処理施設が整備されれば、経費削減が見込まれる。

市



小野寺まなぶ
市議

都和連携した都道第155号線整備の進捗状況は？

2025年10月に2カ所目の待避所が整備された。小山田小学校付近の安全対策については都に要望し、現在調査検討中の状況。

市



小野寺まなぶ
市議

町田の熊対策は大丈夫？

2023年10月に相原地域でツキノワグマの目撃情報があった。これ以降、市内で目撃情報はない。出没した場合は、関係機関と連携し、市民の安全確保をした上で、警察と連携し、熊を市街地から追い出すことを基本に対応する。

市

ネットワークを生かした公明党の物価高対策

「即効性」「中間所得層まで」の支援を

町田市

2025年12月8日に石阪市長に緊急要望。重点支援地方交付金を活用し、食料品高騰の負担を軽減するために、即効性があり、中間所得層まで行き渡る支援策を要望しました。

東京都

●東京アプリ生活応援事業 1～3月に開始予定

15歳以上の都民が「東京アプリ」を活用し、11,000円相当のポイントがもらえます。都議会公明党の推進で実現へ！

取得方法

①東京アプリをダウンロード



②マイナンバーカードで本人認証



全国

●1～3月の電気・ガス代補助 一家庭あたり約3,000円負担減

●ガソリン税の暫定税率廃止 1ℓ約15円安く

●「年収の壁」の見直し 一人約2～4万円の所得税減税

●児童手当の増額 子ども一人あたり2万円の「応援手当」



公明党町田総支部の主な政策



子育て・教育支援

0円子育て

- 幼稚園、保育園の給食費を無償化
- 学校の教材費や学用品、行事費を無償化
- 小児インフルエンザ予防接種の公費助成

「小1の壁」解消へ

共働き世帯の親が、小学校入学後の始業前などの預け先に困る「小1の壁」を解消します。



医療・福祉、高齢者支援

シルバーパスを都外でも

公明党の提案により、12,000円に引き下がったシルバーパス。さらに都外へ越境する区間でも利用できるよう環境整備を進めます。

がん検診の費用軽減

病気を未然に防ぎ、医療費を抑制するため、成人健診や歯科検診の受診率向上を推進。さらに、がん健診の費用を軽減します。

魅力ある街づくりへ

デジタル地域通貨で経済対策

市内限定のデジタル地域通貨（キャッシュレス決済）を発行し、給付金の活用などで市内経済を活性化させます。

感震ブレーカー設置補助

地震による通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」の設置補助を市内全域に拡大します。

